



RE-START →

生野区

勝山小学校生涯学習ルーム



RESTART リスタート=再起動/再出発の意



令和8年3月の勝山小学校の閉校にともない、勝山小学校生涯学習ルームの3つの講座(うたごえ広場、民謡教室、切り絵教室)は生野未来学園に活動場所を変えて継続されます。

うたごえ広場の活動のあと、大阪市生涯学習推進員の筒井さん、込山さん、塚谷さんと、令和8年度から新たに推進員に加わる奥野さんを交えて、講座のこと、推進員活動のこと、そしてこれからのことについてお話をうかがいました。



■うたごえ広場「楽しく歌おうよ！」

込山:年齢は80歳以上がほとんどですが、みなさんお元気で前向きです。健康面では気がつかない。足も冷えたらあかんし。フェスティバルの舞台発表のときも、押し車や杖などを使われて区民センターまで行きます。並ぶ表つくったら自分たちでその表を見せあいながら、ちゃんとそこにいられます。

筒井:バンダナを巻いて、おしゃれにして舞台に出てくれるんですよ。

込山:やっぱり発表できる場があるってね、うれしいですよ。



■新しい仲間がふえました

筒井:奥野さんには私から声かけたんですよ。歌いにけえへん? って。

奥野:昔、青少年指導員を筒井さんと一緒にやりましたから。去年の生野区のフェスティバルの手伝いをしてほしいという依頼があって、やりますよ言うて。やるんやったら推進員になってくれたらと、ほんなら僕、養成講座受けまして。

筒井:ハマりはったんですよ、沼に。委嘱は新年度からですが、養成講座ではエルキューブ(※)にも参加してくれました。

奥野:あの時、エルキューブ(令和7年9月)は「推進員さんの仲間はどうか増やすか」という内容でした。



奥野さん

※ エルキューブ
推進員活動の日頃の悩みや地域の課題、工夫していることなどを校区を越えて推進員さん同士で気軽におしゃべりできる交流の場です。令和7年度は3回開催されました。

■推進員になるきっかけ

塚谷:私は最初は民謡教室にきて、その後、うたごえ広場も楽しいからいうて参加しました。推進員に誘われた時は母の介護をしてたんですけど、母を見送った後に、「どう、一緒にしない?」ってまた言われて。民謡教室でも、うたごえ広場でも本当に楽しく過ごさせてもらってるから、貢献したい気持ちで養成講座を受けました。

筒井:うれしいね。なかなか新しい人が養成講座、受けてくれないですからね。

込山:そうですね。若い人はみんな忙しい。塚谷さんは教室に来てはったので推進員の役割とか教室の流れもわかってるから。そういう人には声をかけやすいですね。

塚谷:推進員になったらいろんな方と知り合えてっていうのも出てきましたね。仕事ばかりして限られてた人間関係が、楽しく広がったなと思ってるんです。

込山:私もずっと仕事してたから、生涯学習というの知らなくて、退職した途端にここで民謡をやってる推進員さんが養成講座の紙を持ってきて…。勝山小学校に生涯学習ルームがあるのも全く知らなかったです。

筒井:いつの間にかプロみたいじゃないですか。

込山:この間の3年次研修に行った時ね。他の区の推進員さんがいろんな講座を単発的にやっているのを発表されたんですよ。若い方が、ちょっと気晴らしに、1回だけの講座だと参加してもらいやすそうですね。

奥野:前に開催した、単発の講座に教えに来てくれた方、良かったですよね。

筒井:そうそう。城東区の推進員さんに応援をお願いして、勝山小学校の児童全員に筆づくりの一日体験をやったんです。

■推進員のやりがい

込山:初めの頃はすることがわからなかったんです。でもやっているうちに、民謡教室は練習内容を書いたり、カセットテープを巻き戻したり、切り絵教室も和紙やのりを並べるとして、準備係のようなことをやったりしています。作品を展示するとなるとどこに出そうとか、何作出そうとか決めます。南ブロックの作品展示には毎年出させてもらってます。みんなが「飾ってもらえる」って、またやる気を出すんですね。推進員はやりだしたら用事が多いですけど、楽しみだし、好きで続けていけるものではありませんね。



込山さん

■お世話係さんもいます

講座の受講者で教室の運営を手伝ってくれる人

筒井:お世話係さんというの、これはいいと思いますわ。

込山:フェスタの日とか、展示場所におってくれて説明をしてくれたり、お世話係さんも教室に参加してるので、お客さんに説明できるし、小学生が多い体験の時も助かりますね。

筒井:お世話係さんみたいな関わり方も広がりたいなと思います。家に引っ込む人が多い中で、こういうことをやってみようかなって。そこに楽しみをみつけてくれたらいいですね。



編集後記

取材をさせていただいたのが1月、そして3月になり再び、勝山小学校生涯学習ルームでの最後の「うたごえ広場」

へおうかがいして、切り絵、民謡に参加のみなさんと合同の懇親会にも参加させていただきました。ここで、うれしいニュースが。

インタビューさせていただいた、令和8年度から推進員に加わる奥野さんが折り紙教室を立ち上げるとのこと! その名も「ユメオリ広場」です。

第1土曜日、朝10時半から。場所は生野未来学園です。新しい出会いに

わくわくです。推進員のみなさま、ありがとうございました!

2025 大阪市生涯学習ルーム

ふえすていばる

よってみて! やってみて! 楽しくチャレンジ!

2025年 10月26日(日)
@総合生涯学習センター



設営・運営・撤収まで、推進員のみなさま、おつかれさまでした!

塚谷:養成講座の時はいろんな区の方が集まって話しますから、それも刺激がありました。住んでるところは近くけど、いろいろ違うんだなと。新鮮で良かったですよ。学生の時の委員会みたいな気持ちで受けてました。他の区の発表会も見に行こうかなという気持ちも出てきますね。東住吉区のフェスティバルにも行ってみたい楽しかったです。自分から出ていってというのが多くなりました。だからこういう活動に声をかけてもらって、うれしいです。

筒井:大変なこともありますけど、でもやるんだったらやっぱり楽しくいきたいですよ。ただ(生涯学習ルームの制度が)できてずいぶん経つから、時代に合わせていくことも必要ですね。



筒井さん



塚谷さん

■新しい場所で「勝山」を残したい

込山:今までと違う活動のやり方に頭を切り替えて、みんなが楽しめるようにしたいです。会場は変わりますが、これまでと同じ時間帯でできるっていうのはありがたいです。

筒井:参加費も300円を500円に、みたいなこともちょっと検討して。考え方を変えれば、会場が広がるので会員数を増やすことができる。切り絵もひよっとしたら増えるかな、うたごえ広場も民謡もちょっと増えるかなという希望を持っています。名前には全部「勝山」入れてるんですよ。勝山うたごえ広場、勝山民謡教室、勝山切り絵教室。それは残してくれて言いました。

込山:民謡教室は生野区のプログラムの中には少なく貴重な講座なんですよ。盆踊りも少なくなってるし、民謡を掘り起こしてこれからも繋いでいかなあかんし。若い人も興味を持ってくれたらいいなと思います。